

岐阜学習センター (21A)

科目コード	2668777
クラスコード	K
科目区分	専門科目:心理と教育
ナンバリング	320
科目名	心理学実験2
定員	24名
担当講師	カワシマ ケンタロウ 川嶋 健太郎 東海学院大学教授
日程 実施時間	<ul style="list-style-type: none"> ■ 11月8日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 ■ 11月9日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 〈試験・レポート等〉 15:55～16:40
実施会場	岐阜学習センター

授業概要

この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD:Bring Your Own Device) で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他(特記事項)】
 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学実験では、学生が実験者および実験参加者として実験を行い、得られたデータを統計的に分析してレポートを作成します。「心理学実験2」では、自由再生、パーソナルスペース、印象形成という3つのテーマで実験を行います。学生は原則として8回の授業全てに出席し、3種の実験全てについてレポートを提出する必要があります。

【到達目標】

心理学の実験を「実験者」や「参加者(協力者)」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】

- 第1回 心理学実験でのレポートの書き方について
- 第2回 自由再生実験の導入と実施
- 第3回 自由再生実験のデータ分析と解釈
- 第4回 自由再生実験のレポート執筆指導
- 第5回 パーソナルスペース実験の導入と実施
- 第6回 パーソナルスペース実験のデータ分析と解釈
- 第7回 印象形成実験の導入と実施
- 第8回 印象形成実験のデータ分析と解釈

【学生へのメッセージ】

実験の進行状況により、スケジュールが変更になる可能性があります。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。3つの課題について、レポート執筆に用いる資料は事前に準備しておいてください。インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システム WAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」を参照してください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。

【成績評価の方法】

授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により評価します。レポートは授業後に、講義室で持参したパソコンからメールで提出してもらいます。操作をご自身で行えるよう、事前にご確認ください。

【受講者が当日用意するもの】

1. 持参する端末
ノートパソコンを持参してください
2. OSの指定
種類は問いません(Windows、macOS、ChromeOS等)。
3. ソフトのインストール
・ブラウザはMicrosoft Edge(エッジ)、Google Chrome(クローム)、Mozilla Firefox(ファイアーフォックス)、Safari(サファリ)のいずれかが必要です。
・Wordが望ましいです(Googleドキュメントも可)。
・Excelが必要です。
4. その他
・はさみ、USBメモリ、電卓、定規
・マウスを持参してください。
・ソフトのバージョン指定はありません

【教科書】授業当日にプリントを配付します。

【その他(特記事項)】

充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。色識別を要する実験課題があります。